

平成29、30年度 土木学会第4回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：平成31年1月22日（火）14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 講堂
3. 出席者：中村顧問，三浦顧問，西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，池田委員，大垣委員，大西委員，大山(理)委員，大山(博)委員，緒方委員，奥井委員，菅野委員，島委員，高嶋委員，竹村委員，谷口委員，玉井委員，内藤委員，橋本委員，畑委員，古内委員，三ツ木委員，渡辺委員，大久保幹事，川端幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，松本幹事

(敬称略，計 33 名)

4. 配付資料：

- 委4-0 平成29・30年度 第4回複合構造委員会 議事次第
- 委4-1 平成29・30年度 第3回複合構造委員会 議事録（案）
- 委4-2-1 平成29・30年度 複合構造委員会 委員名簿
- 委4-2-2 平成29・30年度 複合構造委員会 組織図
- 委4-2-1 平成29・30年度 複合構造委員会 スケジュール
- 委4-3-1 メール審議結果「国際連携小委員会」委員の変更
- 委4-3-2 メール審議結果「グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会」委員の追加
- 委4-3-3 メール審議結果 平成30年度複合委員会予算案
- 委4-4-1 「複合構造の継続教育小委員会」設立趣意書
- 委4-4-2 複合構造委員会運営規則の改正案
- 委4-5 「プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会」設立趣意書
- 委4-6-1 平成29・30年度 第8回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-6-2 平成29・30年度 第9回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-6-3 平成29・30年度 第10回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-6-4 平成29・30年度 第11回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-7 平成31年度事業計画および予算要求調書
- 委4-8 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の募集
- 委4-9 JSCE2020におけるアクションプランの提案依頼
- 委4-10 第2回温故知新セミナーの報告
- 委4-11 平成30年度年次学術講演会（共通セッション）の報告
- 委4-12 平成30年度年次学術講演会（研究討論会）の報告

- 委4-13 第7回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウムの報告
- 委4-14 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムの準備状況
- 委4-15 第2回日中シンポジウムの報告
- 委4-16 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 委4-17 出版関連報告
- 委4-18 複合構造委員会小委員会一覧
- 委4-19 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委4-20 H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会
- 委4-21 H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会
- 委4-22 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 委4-23 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水研究小委員会
- 委4-24 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会
- 委4-25 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 委4-25 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 委4-25 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 委4-25 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 委4-26 次期委員長選挙結果

5. 議事内容：

(1) 委員長挨拶

西崎委員長より挨拶があった。平成29・30年度の最終委員会であり、幹事会も残り1回となった。引き続き活発な意見、建設的な討議をお願いしたいとの話があった。

(2) 第3回複合構造委員会 議事録(案)の確認

溝江幹事長より資料に従い議事録(案)の確認が行われ、以下の点を修正することで承認された。

- ・ 5. (2)議事内容：「第1回委員会」を「第2回委員会」に修正する。

(3) 平成29・30年度複合構造委員会体制ほか

溝江幹事長より資料に従い説明が行われた。所属等、名簿を更新した。

- ・ 趙委員の中国の浙江大学への移動に伴い所属を更新したほか、畑委員を新たに追加した。
- ・ 組織図について、グリーングレー委員会を更新した。

【審議事項】

(4) メール審議結果の確認

溝江幹事長より、以下の説明があった。

- ・ 「国際連携小委員会」委員の変更
広瀬委員の退任に伴う松本委員の就任について、承認された。

- ・ 「グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会」委員の追加三ツ木委員の就任について、承認された。

- ・ 平成30年度委員会予算案

平成30年度予算案について、承認された。なお、予算は適正に執行されている。

【審議事項】

(5) 「複合構造の継続教育小委員会」の設置と複合構造委員会運営規則の改正

中村幹事より、資料に従って説明がなされた。若手技術者のための温故知新セミナーおよびe-ラーニングを今後定常的に運営するための常設委員会の設置が提案され、承認された。それに伴い、委員会運営細則の改正案が示され、承認された。

(6) 「プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会」の設置

内藤委員より、資料に沿って説明があった。プレハブ・プレキャスト工法の課題等を洗い出し、成果を示方書に反映させることを想定していることから、H150台での設立を行いたい旨の説明があり、承認された。

なお、議事内容に関連して、以下の意見が出された。

- ・ (質問) プレキャスト委員会についてはコンクリート委員会でも動いている。複合構造委員会独自の特徴を出せるか？

- ・ (回答) 複合構造物を想定しているが、その他の委員会の情報も活用したい。

- ・ (意見) 設計だけでなく、契約システム等の記載もあるので、幅広い議論をお願いしたい。

- ・ (質問) H150番台で設立する理由について、具体的に説明いただきたい。

- ・ (回答) 示方書委員会の中でプレハブ・プレキャスト化について議論になった。示方書委員会の中で取り組んでもよいが、新たにH150番台の委員会を設立する方がよいという結論となり、幹事会で承認された。

(7) その他

なし

【報告事項】

(8) 幹事会報告

溝江幹事長より、今年度の第8回～第11回の幹事会について議事録を紹介した。

(9) 平成31年度事業計画および予算要求調書

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。次年度は4つの行事（複合シンポ、温故知新セミナー、H214・H217講習会）が予定されている。

(10) 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の募集

溝江幹事長より資料に沿って説明があった。現在、本件に関して委員各位にメールで依頼済みであり、希望者は資料を作成して送付するよう依頼があった。

(11) JSCE2020におけるアクションプランの提案依頼

溝江幹事長より資料に沿って説明があった。JSCE2015の終了が近づいており、企画委員会においてJSCE2020の策定が開始された。企画委員会より、JSCE2020の中長期目標の素案に対する各委員会のアクションプランを提案するよう依頼があったことから、複合構造委員会では「土木構造物の持続性検討のための300年暴露試験の開始」として応募することとなった。今後企画委員会で採択された場合の協力依頼があった。

(12) 第2回温故知新セミナー

齋藤（隆）幹事より、資料に沿って説明があった。東海大学の中村先生、北海道大学の上田先生に講演をお願いした。当日の出席者は93名であった。また、課題も明確になったので、今後改善できるよう、継続教育委員会で進める予定である、との説明があった。

- ・（意見）IABSEの日中韓で若手技術者を対象にコロキウムを実施した。今年は東京工業大学で歩道橋のデザインコンペを実施する予定となっている。研究発表に関しても、完成していない論文でも受理できるようハードルを下げた。積極的に若手が関与できるような枠組みにすれば、より充実すると思われるので、検討いただきたい。
- ・（意見）土木ではコンペなどの機会が少ないと思われる。論文発表だけではなく、コンペなどを始めて、若手技術者・研究者が積極的な参加ができるようにしていただきたい。
- ・（回答）今後検討する。

(13) 平成31年度全国大会（共通セッション・研究討論会）

齋藤（隆）幹事より、資料に沿って共通セッションに関する説明があった。8/29-31に土木学会全国大会が開催され、複合構造セッションでの発表件数は44件であり、183名の参加があった。

松本幹事より、資料に沿って研究討論会に関する説明があった。H216委員会が担当し、94名の参加があった。

なお、研究討論会は2年に1回となったため、H31年度には研究討論会は実施しないことが確認された。

(14) 第7回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。講演数27件、参加者は87名であり、直近3か年で講演数・参加者ともに最も多かった。また、8件のパネル展示もあった。

(15) 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。準備状況として、特別企画等の内容を検討している。シンポジウム開催日を11/14(木)～15(金)、論文の応募締切日を5/31としている。今回は土木側の開催となり、見学会などの企画も必要となるため、現場見学等に関する協力依頼があった。

(16) 第2回日中シンポジウム

松本幹事より、資料に沿って説明があった。10/24-26で日中シンポジウムが開催された。橋梁参加者33名のうち日本からの参加は14名であった。前日に開催されたIABSEでは、橋梁の参加者が20名(日本からは8名)であった。第3回日中シンポジウムは2年後と思われるが、確定していない。

(17) 土木学会論文集A1特集号：複合構造

橋本幹事より、資料に沿って説明があった。第7回FRPシンポで発表された内容の論文が6件、報告が2件投稿されている。招待論文は藤井先生に、小委員会報告はH106に依頼済みである。通常号では、1編あたり2000円値上がりしたが、特集号は同額としている。

(18) 出版関係報告

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。原価回収部数に達していないものもあるので、販売促進に協力して欲しいことが補足された。

(19) 小委員会報告

(H101) 複合構造標準示方書小委員会

斉藤幹事より、資料に沿って説明があった。2020年版で出版できるよう活動を行っている。モジュールにした場合にどのような書式で記載するか議論を行っており、今後具体的な検討を進めて行く予定である。

(H106) FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

中村幹事より、資料に沿って説明があった。地方講習会(セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修補強指針(案)と共催)では、大阪50名、札幌70名ほどの参加があった。1/28に博多で開催予定(参加申込み90名)である。

(H107) グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。重点研究課題に対応した委員会で、3つのWGを設置し、活動を行っている。11月には大分での事例を視察した。今後、委員会および幹事会をそれぞれ1回ずつ開催する予定である。

(H151) 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会

溝江幹事長より、資料に沿って説明があった。疲労照査法の確立に向けた検討課題を抽出した。示方書の枠組みが変わったこと、発刊が延長されたことなどから、2020年版への反映も考慮しながら活動を検討中である。

(H214) 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

大西委員より資料に沿って説明があった。2019年4月に第12回委員会を開催予定である。報告書の完成および報告会に向けて着実に準備を進めている。

(H215) 複合構造物におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

川端幹事より、資料に沿って説明があった。1/22午前に中間報告として報告会を実施し、55名の申込みがあった。2019年2月から第2期を開始する予定である。

(H216) 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本幹事より資料に沿って説明があった。2期目も引き続き進める予定である。

(H217) コンクリート充填鋼管部材の活用に関する研究小委員会

大垣委員より資料に沿って説明があった。3つのWGを設置し、活動を進めている。副委員長または委員長代行を検討中である。

(H218) FRP 複合構造物の設計・維持管理に関する研究小委員会

橋本幹事より資料に沿って説明があった。今年の7月で第1期が終了予定なので、2年間の延長を予定している。

(H219) 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

大久保幹事より資料に沿って説明があった。3つのWGを設置し、活動中である。

(20) 終了小委員会の活動成果報告

(H106) FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

大垣小委員会委員長より、PPTを用いて報告があった。

- ・（意見）地方講習会が好評であれば、他都市でも実施したらどうか？例えば、鋼部材の補強は寒冷地でニーズが多いのではないか。
- ・（回答）他都市での集客は難しいと考える。

(21) 次期委員長候補者選挙結果

溝江幹事長より、信任投票結果について説明があり、下村副委員長の次期委員長への推薦が信任された。

下村次期委員長候補から挨拶があった。

(22) 閉会の挨拶

下村副委員長より閉会の挨拶があった。

以上。

（記録・文責：川端雄一郎）